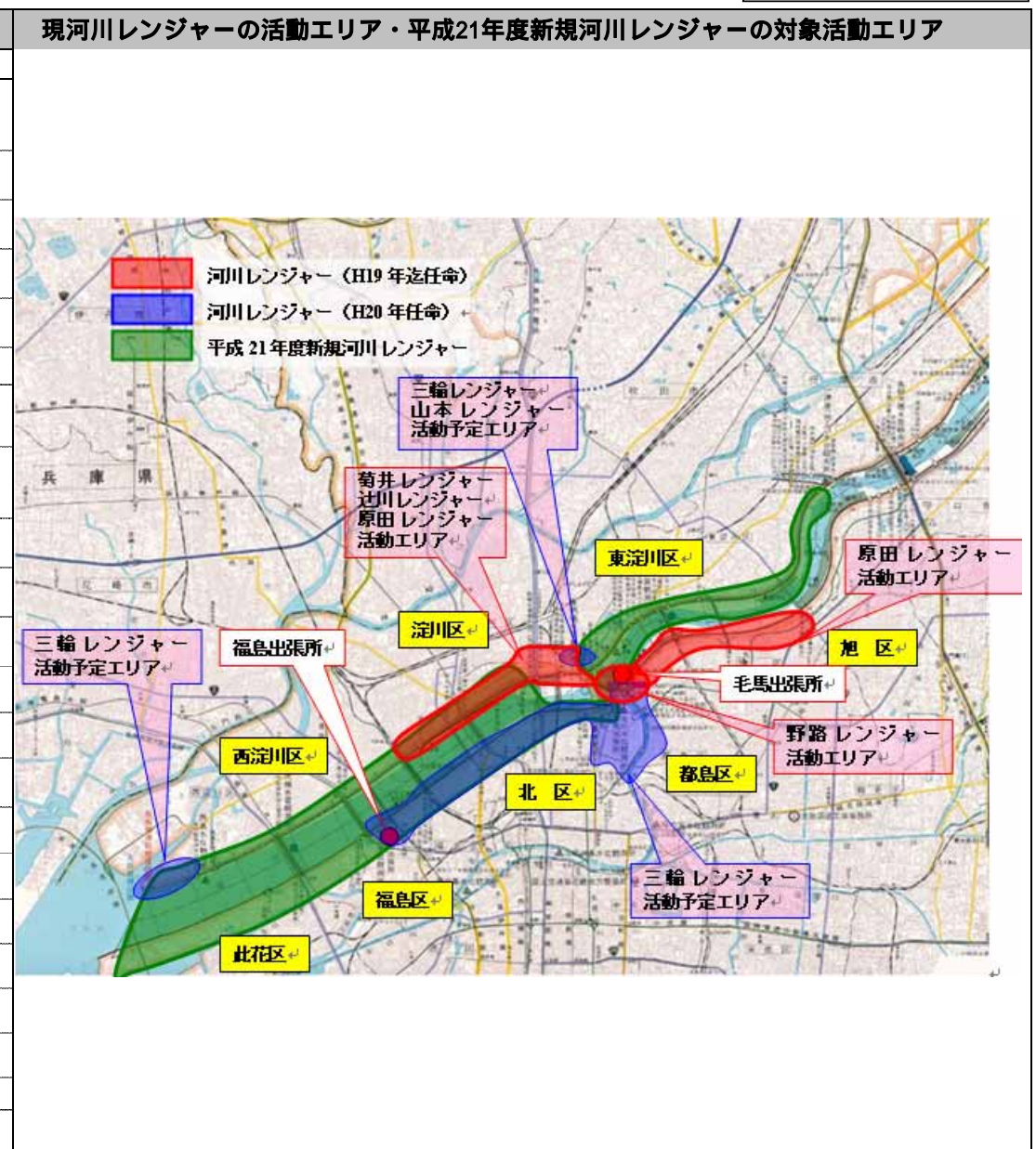


平成20年度 河川レンジャーの展開状況（赤字は21年度試行者活動予定）					
活動分野（運営要領より）	河川レンジャー	活動名	活動エリア	活動対象者	
防災・救援・救難の推進を図る活動	辻川レンジャー	わがまち「防災スクール」（水防工法体験、普通救命講習、図上訓練他）	淀川河川公園十三野草地区及び十三中学校/新北野中学校	十三中学校1年生 新北野中学校テニス部員 地域住民	
		防災啓発活動（よどがわ河川敷フェスティバル）	淀川河川公園 西中島地区	フェスティバル参加者	
河川環境保全を図る活動	菊井レンジャー	河川レンジャー-自然観察会（ジュニア河川レンジャー養成講座）	十三干潟～柴島干潟～水道記念館	一般	
		自然観察会の報告（よどがわ河川敷フェスティバル）	淀川河川公園 西中島地区	フェスティバル参加者	
		てくてくハイク 3つの干潟で一万歩	海老江干潟大淀野草地区～十三干潟	一般	
		地域への啓発活動			
	三輪レンジャー	・冬鳥観察会1 ・冬鳥観察会2	・左岸長柄から海老江 ・西淀川区矢倉海岸	（福島毛馬管内：福島区～北区） （福島毛馬管内：西淀川区）	一般（大阪市内住民）
	山本レンジャー	・水質学習会（1回） ・水処理学習会（3回） （浄水処理法の変遷）	水道記念館・柴島浄水場	（毛馬管内：東淀川区）	一般（大阪市内住民）
	辻川レンジャー		西中島ヨシ原	（福島管内：淀川区）	淀川区活動団体
	野路レンジャー	清掃活動	毛馬排水機場周辺（蕪村記念碑周辺）	（毛馬管内：都島区）	一般・協力スタッフ
	原田レンジャー	城北ワンド群での自然観察（ブルギル退治大作戦）	城北ワンド	（毛馬管内：旭区）	一般・協力スタッフ
			十三干潟での自然観察	十三干潟～柴島干潟	（福島管内：淀川区）
鶴殿観察及び葦刈り			鶴殿のヨシ原	（山崎管内：高槻市）	谷岡レンジャー 一般・協力スタッフ
河川の適正な利用の推進を図る活動	辻川レンジャー	リバーウォッチャー「淀川探検隊」	淀川河川公園十三野草地区	（福島管内：淀川区）	野中小学校4年生
節水意識の普及・啓発活動	山本レンジャー	水使用学習会（2回） （適切な水道使用）	水道記念館	（毛馬管内：東淀川区）	一般（大阪市内住民）
日常的な河川管理活動					
河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動	野路レンジャー	毛馬開門の見学会	毛馬排水機場周辺	（毛馬管内：都島区）	都島区内小学校 児童・保護者
	三輪レンジャー	・まち歩き・史跡巡り ・毛馬開門の見学会	毛馬排水機場周辺	（毛馬管内：北区）	一般（大阪市内住民）
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動					
川づくり・まちづくりへの参画・支援活動					
川の人材を育成する活動					
河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信	辻川レンジャー	地域への啓発活動	淀川区全域	（福島管内：淀川区）	淀川区民



**当該管内における新規河川レンジャー候補人数を決定した根拠**

平成20年度 河川レンジャーの活動エリア  
 【淀川右岸側】・淀川区域を活動エリアとして、3名の河川レンジャーが活動を実施されている。  
 【淀川左岸側】・都島区域・旭区域を活動エリアとして、それぞれ1名の河川レンジャーが活動を実施されている。

平成21年度 重点を置く新規河川レンジャーの活動エリア  
 【淀川右岸側】・運営会議の対象エリア全域で河川レンジャーが展開できるよう、レンジャー活動が実施されていない西淀川区域・東淀川区域に重点を置く必要がある。  
 【淀川左岸側】・右岸側と同様にレンジャー活動が実施されていない此花区域・福島区域に重点を置く必要がある。

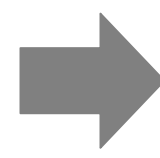
平成20年度 河川レンジャーの活動内容  
 【淀川右岸側】・淀川区域では、小中学生をはじめ、幅広い世代を対象として、「活動分野」の活動が実施されている。  
 【淀川左岸側】・小学生と保護者を対象として、都島区では「活動分野」、旭区では「活動分野」の活動が実施されている。

平成21年度 重点を置く新規河川レンジャーの活動  
 ・淀川における現状の問題・課題において、早期に着手し、特に地域との連携が必要である以下の活動分野に重点を置く必要がある。  
 活動分野：水害への意識啓発活動や地域防災リーダーの育成活動など  
 活動分野：河川体験学習による河川への理解や安全利用、不法投棄・ゴミの対策など  
 ・幅広い分野の活動を展開するため、現河川レンジャーの活動エリアでの活動は、現河川レンジャーの活動以外に重点を置く必要がある。

河川レンジャーの事務局運営  
 【福島出張所】・福島出張所は、平成17年度から河川レンジャーの事務局を担っており、これまでの経験から、平成21年度は、現河川レンジャーを含めて3名（1名増）までの対応が可能です。  
 【毛馬出張所】・毛馬出張所は、平成18年度から河川レンジャーの事務局を担っており、これまでの経験から、平成21年度は、現河川レンジャーを含めて4名（1名増）までの対応が可能です。

河川レンジャーの新たな取り組み（河川レンジャーが中心となった運営の実現に向けて）が軌道に乗り、円滑な事務局運営や河川レンジャーのネットワークが強化されるまでは、河川レンジャーの人員を急増させることは好ましくないと考えられます。

平成21年度 新規河川レンジャーの人員  
 事務局運営を考慮し、福島出張所1名、毛馬出張所1名の合計2名とする。



**平成21年度 新規河川レンジャー展開計画（素案）**

**（推薦人数）**

新規河川レンジャーの活動エリアは、西淀川区域・東淀川区域・此花区域・福島区域を対象とする。  
 新規河川レンジャーの活動は「防災・救援・救難の推進を図る活動」「河川の適正な利用の推進を図る活動」に重点を置く。  
 新規河川レンジャーの人員は2名とし、JR東海道線上下淀橋梁を境界として上下流にそれぞれ1名とする

2 人